

ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）～ハイイールドファンド～

米ドル・コース（毎月分配型）／豪ドル・コース（毎月分配型）／ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）／
日本円・コース（毎月分配型）／南アフリカ・ランド・コース（毎月分配型）／トルコ・リラ・コース（毎月分配型）／
通貨セレクト・コース（毎月分配型）

運用状況と今後の見通しについて

2023年2月3日

平素は当ファンドをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。ダイワ米国高金利社債ファンドの運用状況および今後の見通しについてお知らせいたします。

お伝えしたいポイント

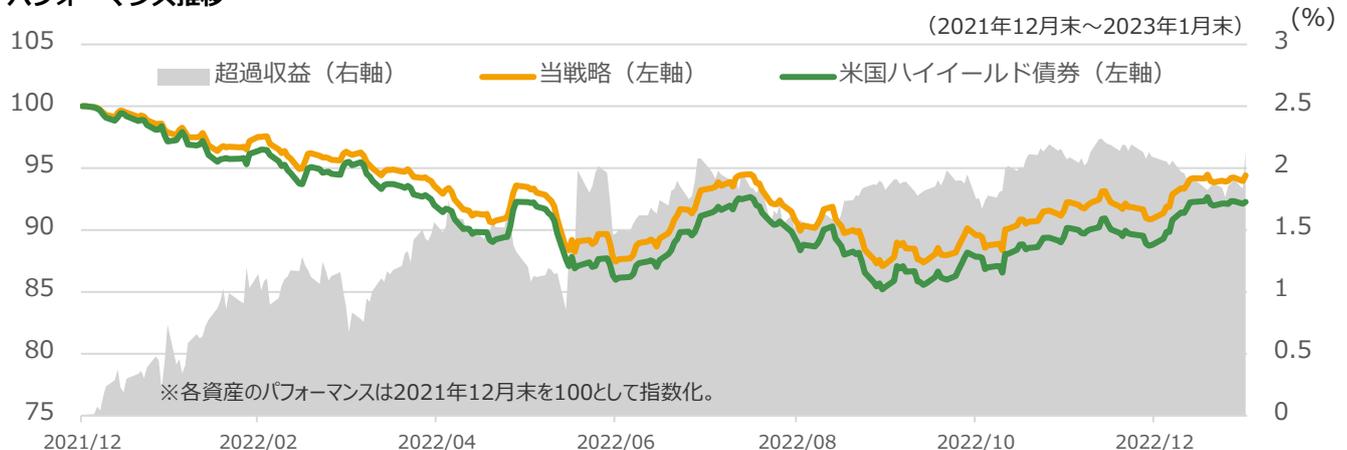
- 米国ハイイールド債券市場は下落も、当戦略は同市場よりも下落幅が小さい
- 良好なファンダメンタルズや高い利回りが期待できる点などから今後も投資妙味は高い
- 景気後退への懸念が広がる中、今後は銘柄選択の重要性が一層増してくる

当期（2021年12月末～2023年1月末）の運用状況

米国ハイイールド債券市場は下落も、当戦略は同市場よりも下落幅が小さい

米国ハイイールド債券市場は、2022年初よりFRB（米国連邦準備制度理事会）による利上げを受けた金利上昇や景気後退への懸念などを背景に軟調に推移しました。10月以降は米CPI（消費者物価指数）が事前予想を下回るなどインフレのピークアウトが期待されるなか、FRBが今後の利上げ幅を縮小させるとの観測や長期金利上昇の頭打ちなどを背景に底堅く推移していますが、当期間を通しては下落しました。一方で、当ファンドが組入れている「GIM トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用戦略に関しては、銘柄選択などが奏功した結果、米国ハイイールド債券市場よりも下落幅は小さくなりました。

パフォーマンス推移



(出所) ブルームバーグおよび各種データをもとに大和アセットマネジメントが作成

※米国ハイイールド債券はICE BofA US High Yield Constrained Indexを使用しています。

※当戦略は、当ファンドが組入れている「GIM トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用報酬控除前（米ドル）のパフォーマンスを示しています。

※当戦略の2023年1月分のデータは速報値を使用しているため、今後変更となる可能性があります。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

良好なファンダメンタルズや高い利回りが期待できる点などから今後も投資妙味は高い

(良好なファンダメンタルズ)

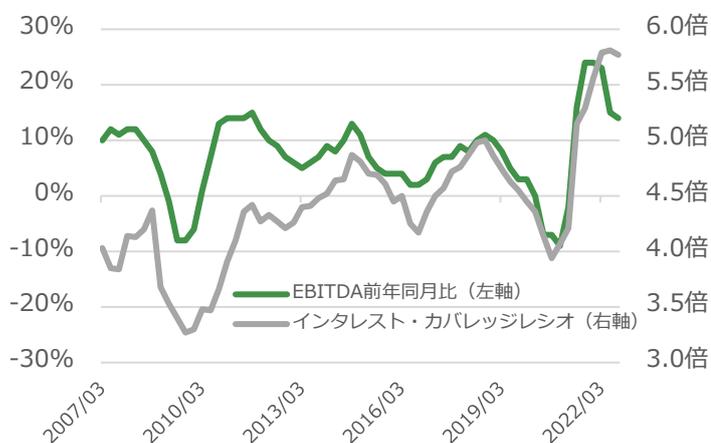
足元の米国ハイイールド債券発行企業のファンダメンタルズは良好な状態を維持しています。

企業のキャッシュフローを評価するために使われるEBITDA（金利・税金・減価償却前利益）の前年同月比の成長率は、コロナショック後には力強い成長を示し、足元では成長速度は鈍化傾向であるものの、総じて良好な利益を上げていることがわかります。また、企業の支払い能力を表すインタレスト・カバレッジレシオは過去の水準と比較しても高水準となっており、企業財務面で良好な水準であると考えられます。

デフォルト率に関しては、良好なファンダメンタルズなどを背景に、足元は1%弱となっており、低水準で推移しています。

EBITDA成長率とインタレスト・カバレッジレシオの推移

(2007年3月末～2022年9月末)



(出所) J.P.モルガン、J.P.モルガン・アセット・マネジメント

※EBITDAは、利払い前税引き前償却前利益のことです。簡易的には、営業利益＋減価償却費で表されます。

※インタレスト・カバレッジレシオはEBITDA/支払利息等で表されます。

デフォルト率の推移

(1986年12月末～2022年12月末)



(出所) J.P.モルガン、J.P.モルガン・アセット・マネジメント、ブルームバーク

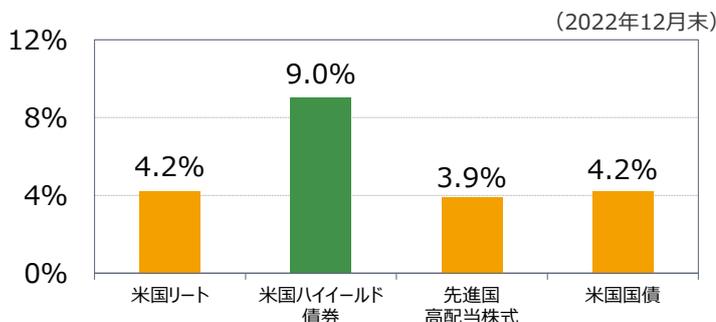
※デフォルト率は、J.P.Morgan Domestic High Yield Indexの対象銘柄を集計して計算しています。

※景気後退局面は全米経済研究所（NBER）の発表をもとに示しています。

(高い利回り)

足元の米国ハイイールド債券の利回りは9.0%と他資産クラスと比較して相対的に高い利回りとなっています。また、米国ハイイールド債券の利回りが9%を超えた際に投資を開始した場合の米国ハイイールド債券のパフォーマンスは、過去の実績では良好な結果となっています。

各資産の利回り比較



(出所) ブルームバーク

※各資産は異なるリスク特性を持つものであり、利回りの比較はあくまでご参考です。当データは過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※米国リート：Dow Jones US Real Estate Index、米国ハイイールド債券：ICE BofA US High Yield Constrained Index、先進国高配当株式：MSCI World High Dividend Yield Index、米国国債：Bloomberg US Treasury Indexを使用。

各利回り超過時に投資開始した際の

米国ハイイールド債券のパフォーマンス

(1996年12月末～2022年12月末)

米国ハイイールド債券の利回り	1年後リターン	2年後リターン	3年後リターン
8%超	9.2%	18.3%	26.4%
9%超	9.9%	21.7%	31.5%
10%超	10.5%	22.4%	32.5%

(出所) ブルームバークからのデータをもとに大和アセットマネジメントが作成

※米国ハイイールド債券のリターン測定に、ICE BofA US High Yield Constrained Indexを使用しています。各リターンは、対象期間において各利回りを超過した際に投資を開始した場合の平均期間リターンを示しています。

※当データは過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

今後の見通し

景気後退への懸念が広がる中、今後は銘柄選択の重要性が一層増してくる

前述のとおり、足元の米国ハイイールド債券市場は、金利上昇および景気後退懸念が主な下落要因となっています。

(金利上昇について)

- ・インフレ抑制に向けた一定の進展

2022年12月の米CPIは、食品・エネルギーを除くコアCPIで前月比+0.3%、前年同月比では+5.7%と3か月連続で伸びが鈍化し、インフレ抑制に向けて一定の進展がみられました。また、2023年1月31日から2月1日に開催されたFOMC（米国連邦公開市場委員会）で0.25%ポイントの利上げが発表され、利上げペースの減速が確認されました。

景気減速への懸念が強まり、金利上昇圧力の抑制につながり始めていると思われます。しかし、FRBはCPIの中でも住居費を除くサービス価格動向を注視しており、賃金上昇圧力の沈静化に向けた蓋然性が高まるまではインフレが高止まるリスクが残ると考えられます。

(景気後退懸念について)

- ・広く予想されるマイナス成長

2022年12月の米国の景気先行指数は前月比-0.8%、前年同月比-6.0%と前月から大きく下落しました。過去に同水準まで低下した際は、いずれもその前後に米国が景気後退入りしており、景気後退入りの確度が高まっています。

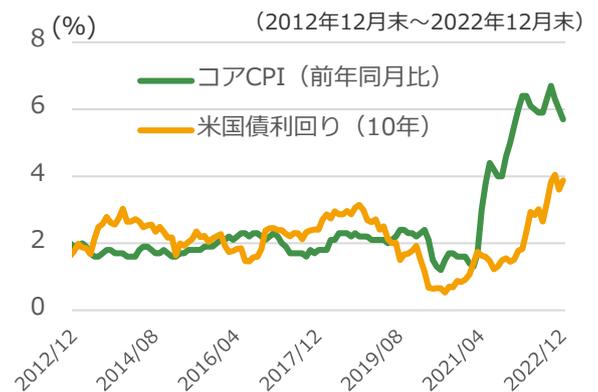
ISM（全米供給管理協会）景況感指数では、製造業・非製造業ともに分水嶺である50を下回り、景気モメンタムの悪化に拍車が掛かった印象があります。一連の金融引き締めに伴う景気下押し圧力が顕在化し始めた可能性が考えられます。

- ・デフォルト率は大きく上昇しない見込み

米国ハイイールド債券発行企業におけるEBITDAの前年比成長率は、良好な状態を維持しています。また景気後退に向かうと広く予想されていますが、借り手は2020年のコロナショック時よりも健全な財務状況であるとみられます。

デフォルト率に関しては、良好なファンダメンタルズなどを背景に足元では1%弱ですが、過去の長期平均である3%程度にまで上昇するとみています。ただし、2023年から2024年にかけて満期償還を迎える米国ハイイールド債券の残高が小さいことや足元の良好なファンダメンタルズなどを背景にデフォルト率が過去の景気後退局面ほど上昇しないとみています。

コアCPIと長期金利の推移



(出所) ブルームバーグ

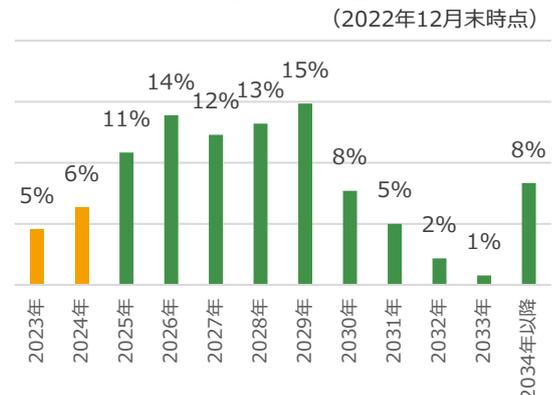
景気先行指数の推移



(出所) ブルームバーグ

※景気後退は全米経済研究所 (NBER) の発表をもとに示しています。

米国ハイイールド債券の満期償還日分布



(出所) ブルームバーグ

※米国で発行されたハイイールド債券の額面残高をもとに計算しています。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

※J.P.モルガン・アセット・マネジメントのコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

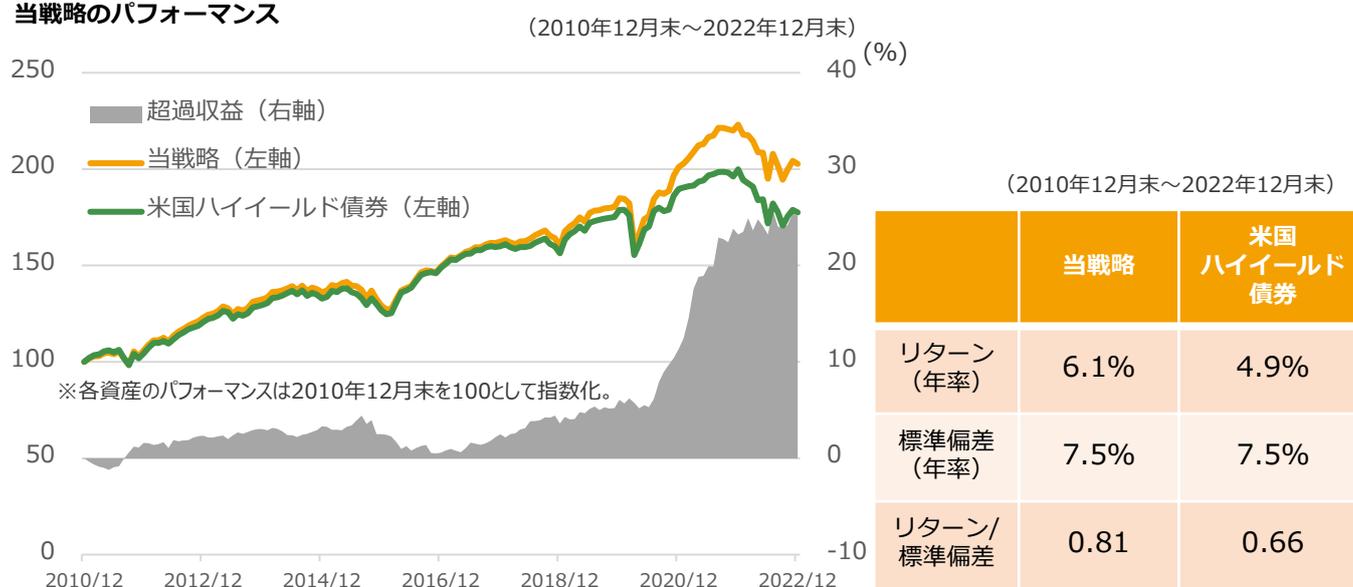
当ファンドの運用方針

米国経済の景気後退への懸念など、投資家の間では警戒感が広がっており、ボラティリティが高まる展開が予想されます。しかしながら、米国ハイイールド債券は依然として他の債券市場と比較して高い利回りが期待できる点や良好なファンダメンタルズが魅力的であり、今後も投資妙味は高いとみています。

一方で、今後予想される景気後退局面においては銘柄間でのパフォーマンスのばらつきが高まると考えられ、銘柄選択の重要性が一層増してくると思います。当ファンドは、企業のビジネスのあらゆる側面を検証し、企業の資本構造を緻密に分析するなど徹底したボトムアップ分析を行うことで、良好なリスク調整後リターンを獲得することができると思っています。

過去の当戦略のパフォーマンスは、主に銘柄選択効果がプラス要因となり、米国ハイイールド債券市場を上回る良好なリターンを獲得しています。引き続き、ボトムアップ分析による銘柄選別を重視して運用を行う方針です。

当戦略のパフォーマンス



(出所) ブルームバーグおよび各種データをもとに大和アセットマネジメントが作成

※米国ハイイールド債券はICE BofA US High Yield Constrained Indexを使用しています。

※当戦略は、当ファンドが組入れている「GIM トラストーUSハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用報酬控除前（米ドル）のパフォーマンスを示しています。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

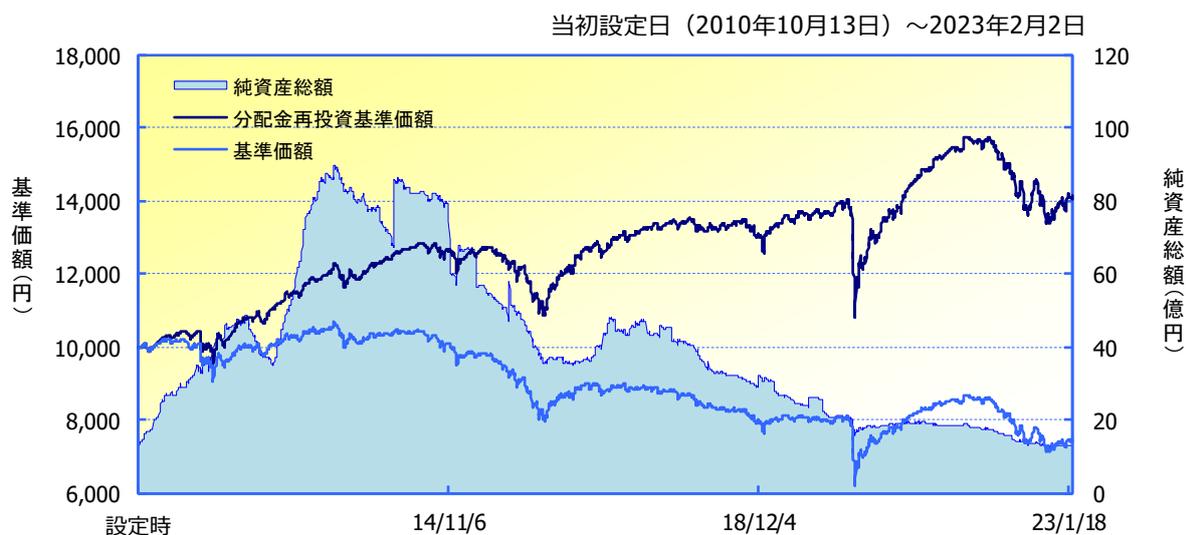
※J.P.モルガン・アセット・マネジメントのコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

■ 基準価額・純資産の推移

【ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）】



【日本円・コース（毎月分配型）】



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

【米ドル・コース（毎月分配型）】



【豪ドル・コース（毎月分配型）】



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

【南アフリカ・ランド・コース（毎月分配型）】



【トルコ・リラ・コース（毎月分配型）】



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

【通貨セレクト・コース（毎月分配型）】



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

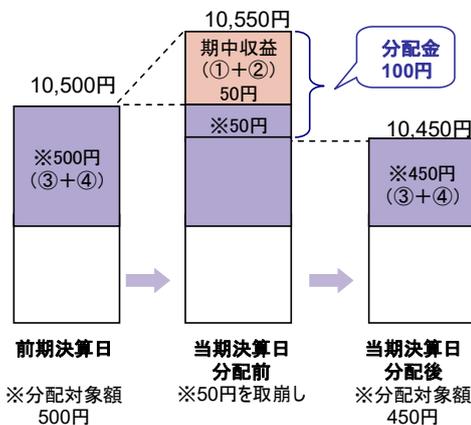
投資信託で分配金が支払われるイメージ



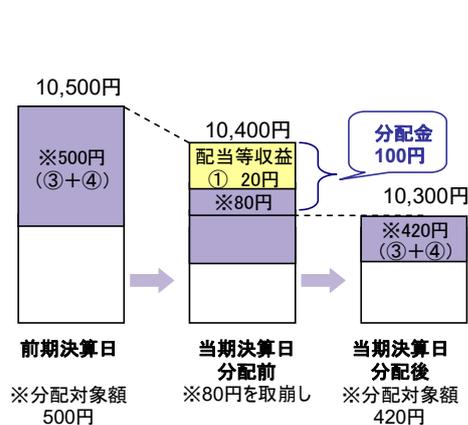
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



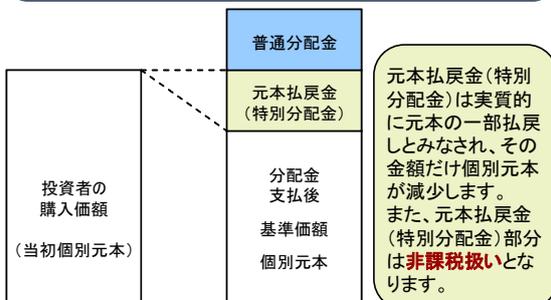
前期決算日から基準価額が下落した場合



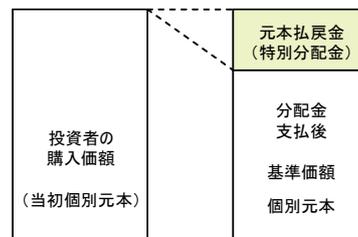
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



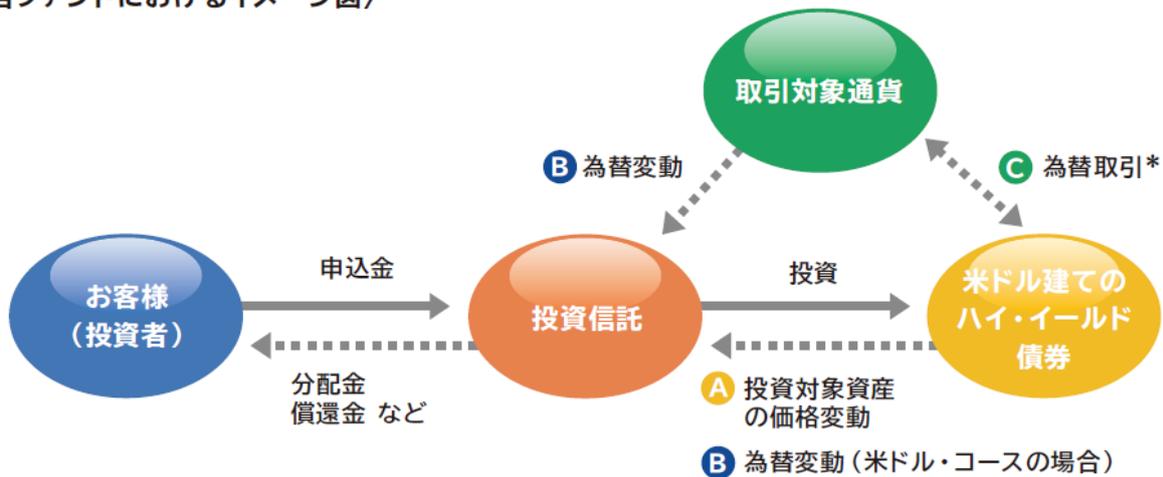
普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

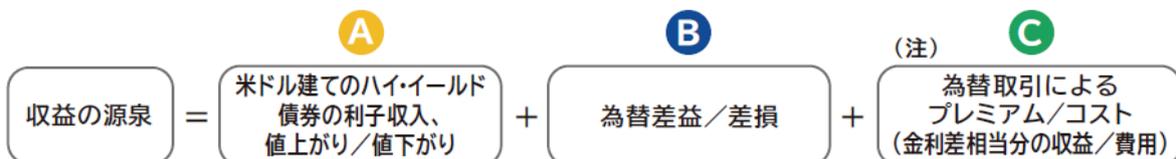
〈当ファンドにおけるイメージ図〉



*取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- 当ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。



収益を得られるケース	<ul style="list-style-type: none"> ・金利の低下 <p>債券価格の上昇、利子収入</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・円に対して取引対象通貨高 ・円に対して米ドル高 (米ドル・コースの場合) <p>為替差益の発生</p>	<p>取引対象通貨 > 米ドルの短期金利</p> <p>プレミアム (金利差相当分の収益) の発生</p>
損失やコストが発生するケース	<p>債券価格の下落</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金利の上昇 ・発行体の信用状況の悪化 	<p>為替差損の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円に対して取引対象通貨安 ・円に対して米ドル安 (米ドル・コースの場合) <p>※日本円・コースを除きます。</p>	<p>取引対象通貨 < 米ドルの短期金利</p> <p>コスト (金利差相当分の費用) の発生</p> <p>※米ドル・コースを除きます。</p>

(注) 取引対象通貨が新興国通貨の場合、為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。

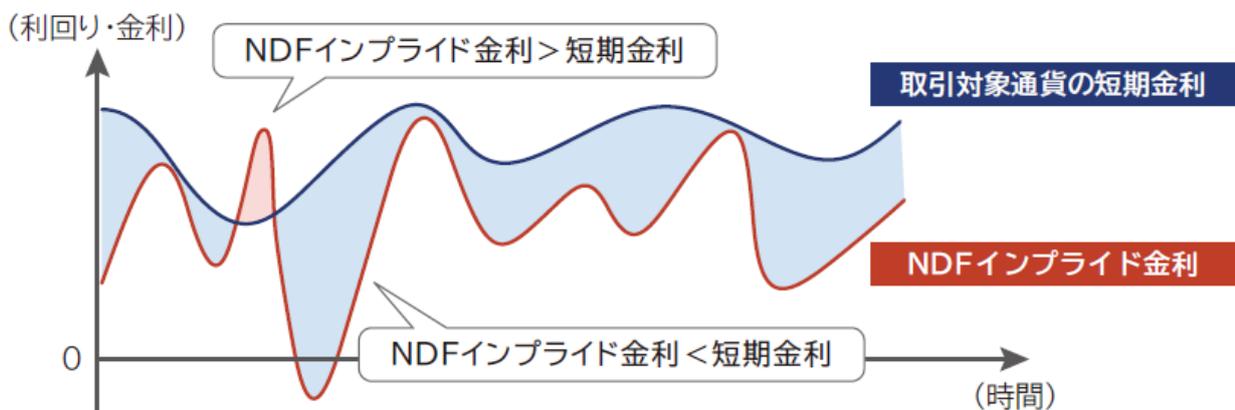
NDF取引を用いて為替取引を行なう際、プレミアム/コストは、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

NDF取引とは

- ◆取引対象通貨を用いた受け渡しは行なわず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- ◆NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き（裁定）が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、取引対象通貨の短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。

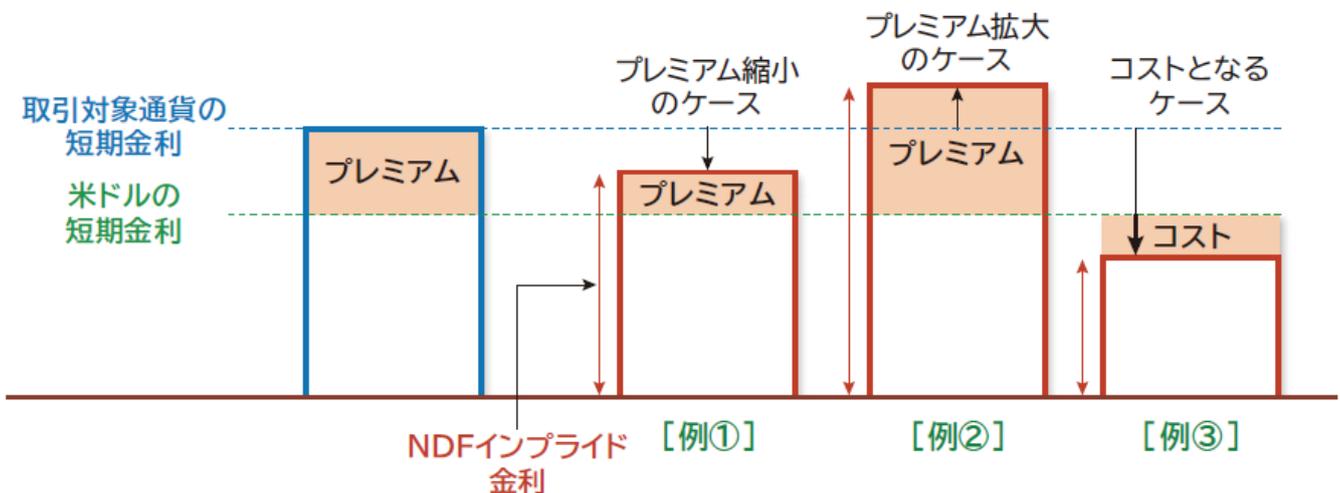
NDFインプライド金利と取引対象通貨の短期金利が乖離するイメージ



※上記はイメージであり、当ファンドのパフォーマンスとは異なります。

NDFインプライド金利の変動の影響

- ◆市場参加者の通貨上昇（下落）期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く（高く）なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く（高く）なると、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が縮小【例①】（拡大【例②】）し、場合によっては為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）となるケース【例③】もあります。



※上記はイメージであり、実際のプレミアム／コストとは異なります。

※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

■ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 米ドル建ての高金利社債^(※)に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

(※) 以下「ハイ・イールド債券」といいます。

ファンドの特色

1. 米ドル建てのハイ・イールド債券に投資します。
2. 為替取引の対象通貨が異なる7つのコースがあります。

コース名	為替取引の内容	取引対象通貨
米ドル・コース	—	—
豪ドル・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／豪ドル買い	豪ドル ^(注1)
ブラジル・リアル・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・リアル買い	ブラジル・リアル ^(注1)
日本円・コース	為替ヘッジを行いません。 (米ドル建ての資産に対して米ドル売り／日本円買い ^(注2))	日本円
南アフリカ・ランド・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／南アフリカ・ランド買い	南アフリカ・ランド ^(注1)
トルコ・リラ・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／トルコ・リラ買い	トルコ・リラ ^(注1)
通貨セレクト・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／選定通貨 ^(注3) 買い	選定通貨 ^(注1)

※7つのコースの間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。

(注1) 円に対して取引対象通貨高となった場合、基準価額の上昇要因となります。円に対して取引対象通貨安となった場合、基準価額の下落要因となります。

(注2) 為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

(注3) 選定通貨とは、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定する通貨をいいます。

原則として、FTSE 世界国債インデックスおよび JP モルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット ブロードの構成国の通貨の中から、金利が高い順に5つの通貨を選定します。

なお、選定した通貨のうち、投資顧問会社が為替取引を行なうことができない通貨があった場合、投資顧問会社は次に金利が高い通貨を選定します。

米ドルを選定する場合、米ドル部分に対する為替取引は行ないません。

- ◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

ファンドの名称	略称	
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 米ドル・コース(毎月分配型)	米ドル・コース (毎月分配型)	米ドル・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 豪ドル・コース(毎月分配型)	豪ドル・コース (毎月分配型)	豪ドル・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	ブラジル・リアル・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 日本円・コース(毎月分配型)	日本円・コース (毎月分配型)	日本円・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)	南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	南アフリカ・ランド・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) トルコ・リラ・コース(毎月分配型)	トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	トルコ・リラ・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 通貨セレクト・コース(毎月分配型)	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	通貨セレクト・コース

- ◆各ファンドの総称を「ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～」とします。

3. 毎月12日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

- ◆J.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インクが運用する外国投資信託の受益証券を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、「米ドル・コース」を除き、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／対象通貨買いの為替取引を行ないます。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク、ハイ・イールド債券への投資リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

〈「米ドル・コース、日本円・コース」以外のコース〉

取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。

投資対象資産の通貨である米ドルの為替変動リスクを完全に排除することはできませんので、基準価額は円に対する米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。なお、取引対象通貨の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

〈米ドル・コース〉

組入外貨建資産について、米ドルが円に対して米ドル安の方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

〈日本円・コース〉

為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLC は、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLC は、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利は FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

Ⅰ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) 3.3% (税抜 3.0%) スイッチング (乗換え) による 購入時の申込手数料について は、販売会社にお問合わせくだ さい。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、 取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.188% (税抜 1.08%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対 して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	(米ドル・コース)・・・年率 0.58%程度 (米ドル・コース、通貨セレクト・コース以外)・・・年率 0.59%程度 (通貨セレクト・コース)・・・純資産総額に応じて 100 億円以下の部分：年率 0.74%程度 100 億円超の部分：年率 0.69%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	(米ドル・コース) 年率 1.768% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) (米ドル・コース、通貨セレクト・コース以外) 年率 1.778% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) (通貨セレクト・コース) 年率 1.928% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。)	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オ プション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合 の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すこと
ができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

くわしくは「投資信託説明書 (交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

加入協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）米ドル・コース（毎月分配型）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）豪ドル・コース（毎月分配型）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）南アフリカ・ランド・コース（毎月分配型）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）トルコ・リラ・コース（毎月分配型）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。

ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）通貨セレクト・コース（毎月分配型）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。